

岡山県新型コロナウイルス感染症対策本部会議（第56回）

日時：令和3（2021）年12月23日（木）

10:00～

場所：県庁3階 大会議室

議事次第

1 開会

2 議題

新型コロナウイルス感染症対策について

3 閉会

岡山県新型コロナウイルス感染症対策本部会議（第56回）出席者

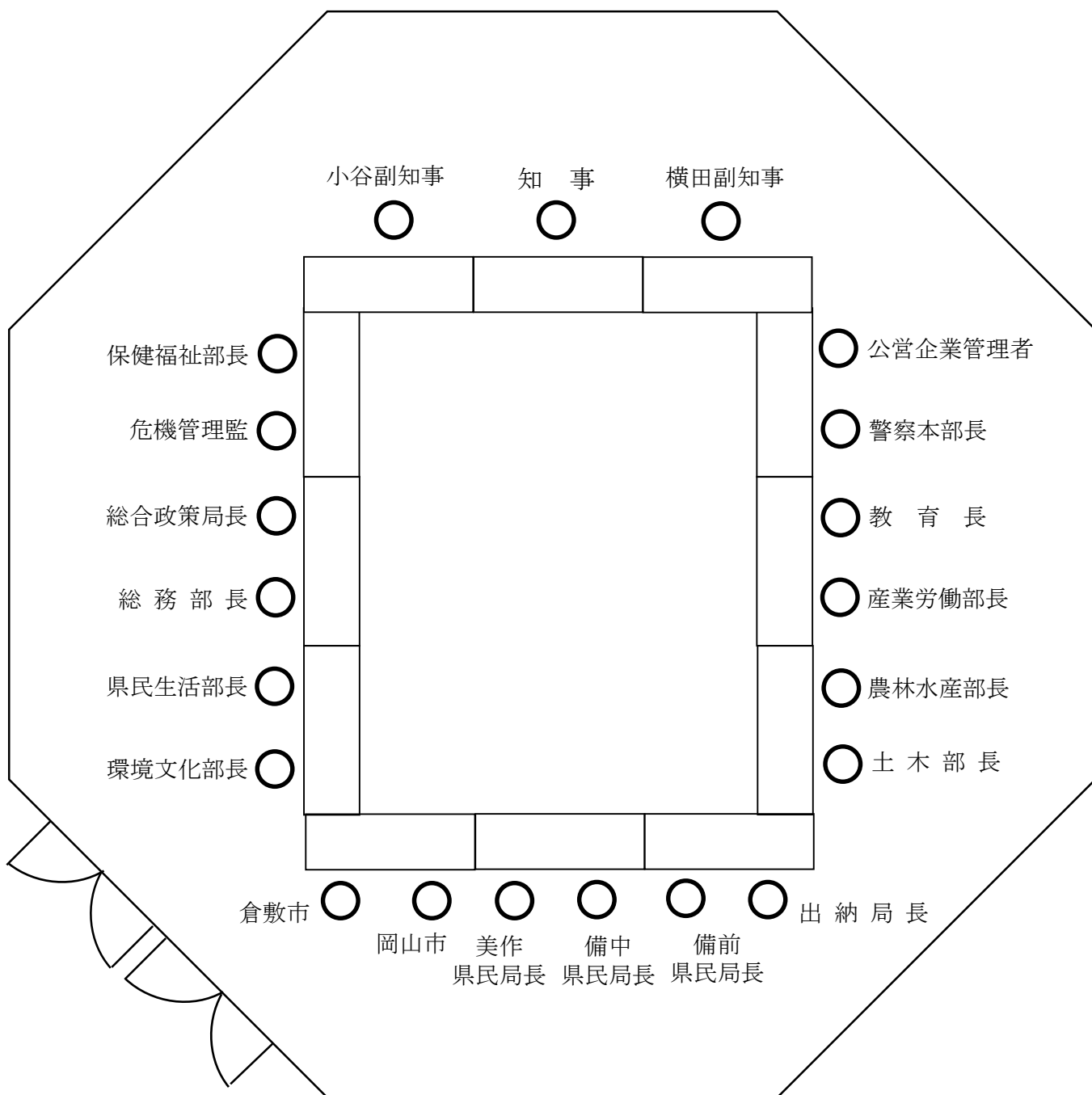
日時：令和3（2021）年12月23日（木）

10：00～

場所：県庁3階 大会議室

出席者	備考
知事	本部長
副知事	副本部長
副知事	〃
危機管理監	本部員
総合政策局長	〃
総務部長	〃
県民生活部長	〃
環境文化部長	〃
保健福祉部長	〃
産業労働部長	〃
農林水産部長	〃
土木部長	〃
出納局長	〃
備前県民局長	〃
備中県民局長	〃
美作県民局長	〃
公営企業管理者	〃
教育長	〃
警察本部長	〃
岡山市保健福祉局保健福祉部 保健政策担当部長 岸川 和忠	本部員以外
倉敷市総務局防災危機管理室 参事 大本 進	〃

岡山県新型コロナウイルス感染症対策本部会議 配席図



資料

新型コロナウイルス感染症対策について

○ 保健福祉部関係

- ・ レベル移行の目安
- ・ 県内の感染状況
- ・ 第6波に向けた保健・医療提供体制確保計画
- ・ PCR等検査無料化
- ・ 新型コロナワクチンの追加接種（3回目接種）
- ・ 年末・年始の感染拡大防止に向けた知事メッセージ

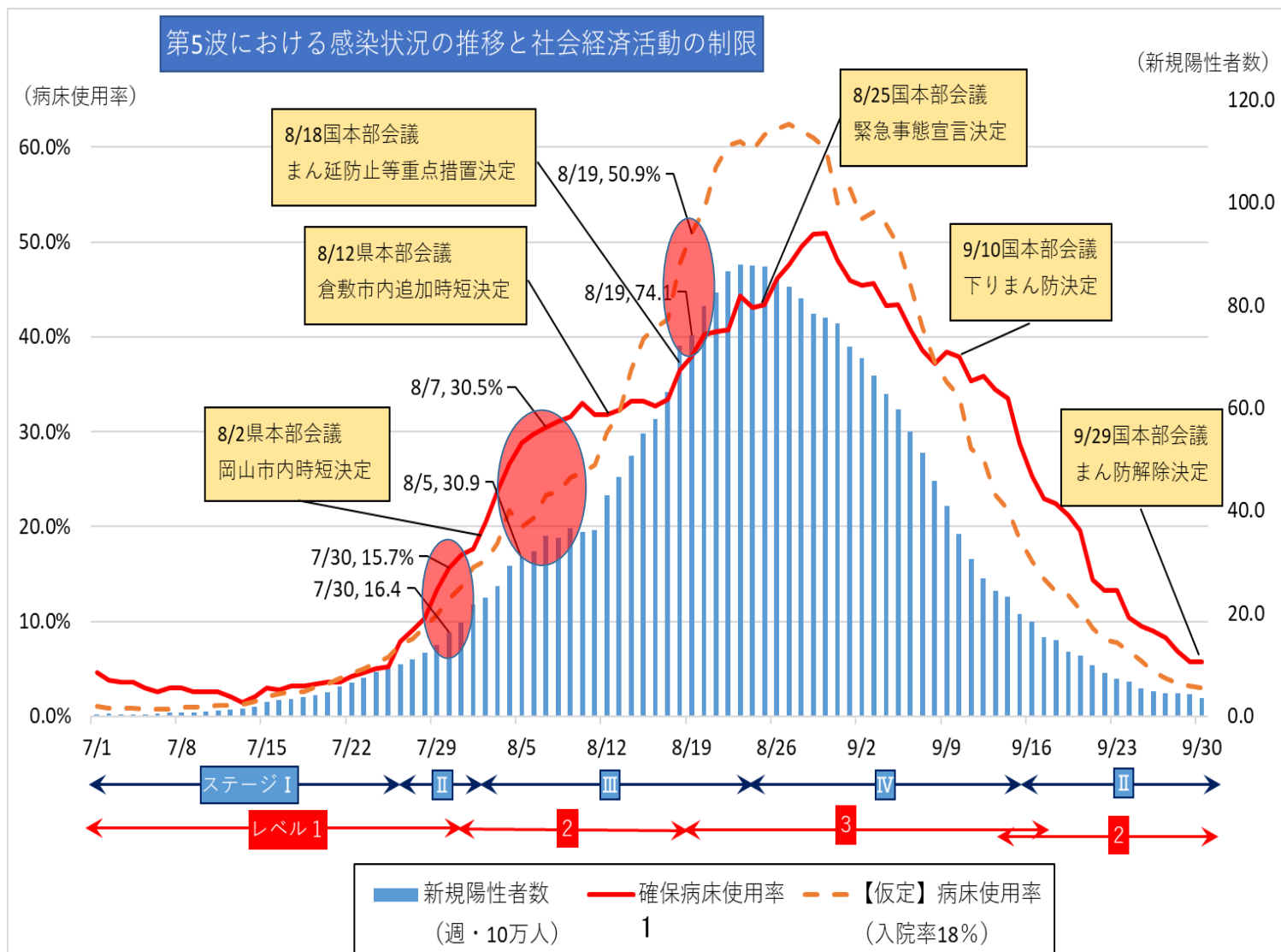
レベル移行の目安について

次の指標を目安に、参考指標や県内外の感染分布状況等を勘案し、総合的に判断

ステージ	ステージ判断指標	レベル	指標 (案)	想定される措置
I	医療提供体制に特段の支障がない段階	0	新規陽性者数ゼロを維持できている状況	基本的な感染防止対策呼びかけ
		1	安定的に一般医療が確保され新型コロナウイルス感染症に対し医療が対応できている状況	基本的な感染防止対策呼びかけ
II	感染者の漸増及び医療提供体制への負荷が蓄積する段階	2	新規陽性者数の増加傾向が見られ、一般医療及び新型コロナウイルス感染症への医療の負荷が生じ始めているが、段階的に対応する病床を増やすことで、医療が必要な人への適切な対応ができている状況	確保病床利用率15% 新規陽性者数15人 感染リスクの高い行動回避の要請等
III	感染者の急増及び医療提供体制における大きな支障の発生を避けるための対応が必要な段階	3	一般医療を相当程度制限しなければ新型コロナウイルス感染症への医療の対応ができず医療が必要な人への適切な対応ができなくなると判断された状況	確保病床利用率30% 新規陽性者数30人 県独自行動制限又はまん延防止等重点措置
		4	一般医療を大きく制限しても新型コロナウイルス感染症への医療に対応できない状況	確保病床利用率50% 3週間後病床利用率100% まん延防止等重点措置又は緊急事態措置 一般医療の制限
IV	爆発的な感染拡大及び深刻な医療提供体制の機能不全を避けるための対応が必要な段階	4	一般医療を大きく制限しても新型コロナウイルス感染症への医療に対応できない状況	緊急事態措置 一般医療の更なる制限

< 上記以外の参考指標 >

新規陽性者数の先週今週比、PCR陽性率、感染経路不明割合、療養者数、入院率、重症者数、重症病床利用率、自宅療養者数及び療養等調整中の数の合計値 など



直近1週間の岡山県の状況（12/15～12/21）及びレベル判断

※速報値

総合的判断

レベル1

区分	確保病床使用率		新規陽性者数		PCR陽性率	感染経路不明割合	10万人あたり療養者数	入院率	重症者数	人口10万人あたり自宅療養者数及び療養等調整中の数の合計値
	重症者用	10万人あたり	今週先週比							
レベル2の目安	15%	参考	15人	参考						
さらなる警戒強化	30%		30人							
レベル3の目安	50%		参考							
今週	0.5%	1.5%	0.05人	0.25	0.03%	0.0%	0.8人	18.8%	1人	0.0人
	3床/557床	1床/68床	1人(※1)	1人/4人	1件/3,579件(※2)	0人/1人	16人(※3)	3人/16人		0人
先週比較	↓	↗	↓	↓	↓	↓	↑	↓	↗	↓
時点	12/20		12/15～12/21				12/20			

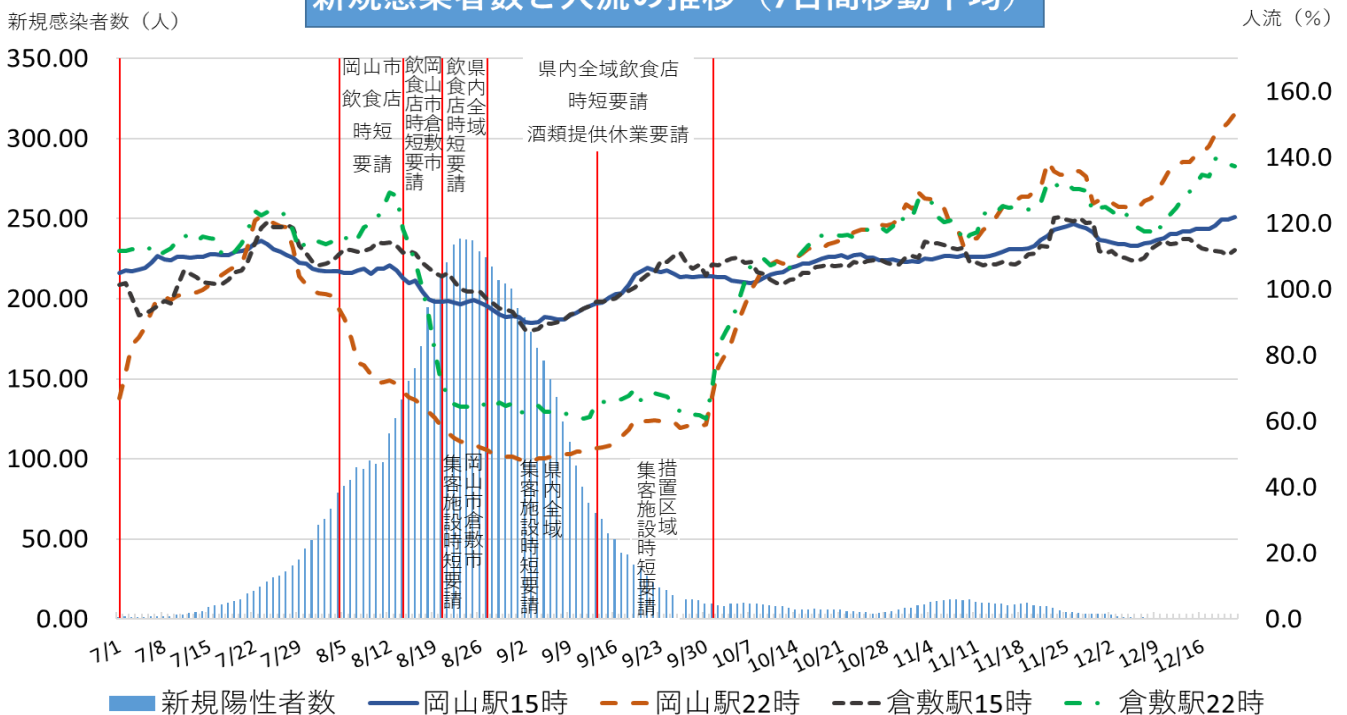
先週	0.7%	1.5%	0.21人	0.80	0.1%	75.0%	0.5人	44.4%	1人	0.1人
	4床/557床	1床/68床	4人	4人/5人	4件/3,754件	3人/4人	9人	4人/9人		1人

(※1) 新規陽性者1人のうち、ワクチン未接種者0人、2回接種者(2週間以上経過)1人(100%)

(※2) 「PCR陽性率」欄は、12月21日までに医療機関から報告があった検査数を基に集計

(※3) オミクロン株の濃厚接触者による宿泊療養施設への入所を含める

新規感染者数と人流の推移（7日間移動平均）



※7日間の移動平均（5月31日の数値は5月25日～31日の7日間の平均） ※人流データは2020年3月31日～4月6日の7日間の移動平均を100としている。
※人流データ出典元：モバイル空間/ドコモ・インサイトマーケティング

第6波に向けた保健・医療提供体制確保計画①

病床数確保に向けた国からの目標提示

- ・今夏ピーク時の2割増の入院受入数、病床利用率80%以上

本県における感染拡大ピーク時の最大値想定

- ・1日当たり最大新規陽性者数：307人（第5波ピーク時と同程度）
- ・最大療養者数：1,893人（第5波ピーク時と同程度）
 - ※ ワクチン接種の進捗により新規陽性者数の減少も想定されるが、感染力が強い変異株への置き換え等等を想定
- ・**最大入院者数 = 449人①**
270人（第5波ピーク時）×1.2×18%（入院率目標）÷13%（第5波ピーク時）

確保病床数

- ・56医療機関 557床（うち重症用 68床）
→ 2022年1月～ 55医療機関 554床（うち重症用 68床）
- ・554床×85%（病床利用率想定、第4波ピーク時同程度）= 470床②



①<②のため、現確保病床数の水準を維持

第6波に向けた保健・医療提供体制確保計画②

宿泊療養施設

- ・**現確保居室数の水準を維持**
- ・507室×70%（ピーク時稼働率想定）= 355室

自宅療養者

- ・1,893人（療養者数）- 449人（入院者数）- 355人（宿泊療養者数）
= 1,089人



**県下全域で、自宅療養者の診療や処方等に対応いただける
医療機関や薬局との協力体制を構築（※2021年11月末現在で各300程度）**

ワクチン・検査パッケージ制度について

1 趣 旨

ワクチン・検査パッケージ※を活用する場合は、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置等における、飲食やイベント、人の移動等の行動制限を緩和する。

※「ワクチン・検査パッケージ」

ワクチン接種歴又は陰性の検査結果を基に、個人が他者に二次感染させるリスクが低いことを示す仕組みのこと。

2 要 件

- (1) 行動制限の緩和の適用を受けようとする事業者は、ワクチン・検査パッケージ制度を適用する旨を都道府県等に登録すること。
- (2) 事業者は、利用者に対し、ワクチン接種歴又は陰性の検査結果のいずれかを選択して提示するよう求めること。
利用者がワクチン接種歴か検査結果のどちらか一方しか選択できないとすることは、ワクチン・検査パッケージに該当せず、行動制限の緩和の適用対象とはならないこと。
- (3) 事業者自らが検査を行う（検体採取の立会いを行う）場合は、別途無料検査実施事業者の登録も行うこと。

3 行動制限緩和の具体的内容

(1) 飲食店

第三者認証制度の認証店が都道府県に制度の適用を登録することで、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置等の下で、飲食店における利用者の人数制限（同一グループ、同一テーブル4人以下）を緩和し、制限なしとする。

(2) イベント

緊急事態宣言やまん延防止等重点措置等の下で、ワクチン・検査パッケージを適用する旨記載した感染防止安全計画を策定し都道府県の確認を受けたイベントは、収容人数の上限（緊急事態1万人、まん延防止2万人）を緩和し、収容定員までとする。

(3) 移動

緊急事態宣言やまん延防止等重点措置等の下で、県をまたぐ移動の自粛を求めない。

観光庁がワクチン・検査パッケージを活用した施策を実施する場合において、当該施策としてツアーを実施しようとする旅行業者及び宿泊サービスを提供しようとする宿泊業者は、観光庁又は観光庁が指定する者に登録するものとする。

※ 民間事業者や施設設置者等が提供するサービス等について、利用者のワクチン接種歴や陰性の検査結果を活用することは、原則として自由であり、特段の制限は設けない（都道府県等への登録も不要）。

例：店舗への入店や会場への入場、商品の割引サービスなど

- ・ 感染対策と日常生活の両立を図る手段として、「ワクチン・検査パッケージ」等の利用を促し、検査の受検を浸透させるため、健康上の理由等によりワクチン接種が出来ない者の検査を無料化。
- ・ 感染拡大の傾向が見られる場合には、都道府県知事の判断により、自己の意思に基づく未接種者、ワクチン接種者を含め、幅広く感染不安などの理由による検査を無料化。

ワクチン・検査パッケージ等定着促進事業

(検査対象・方法)

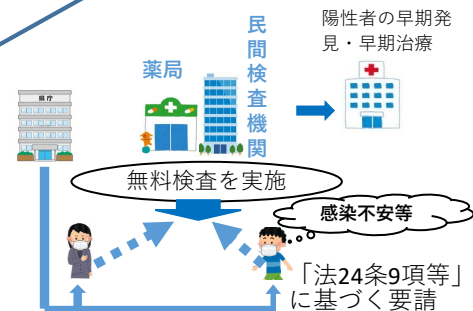
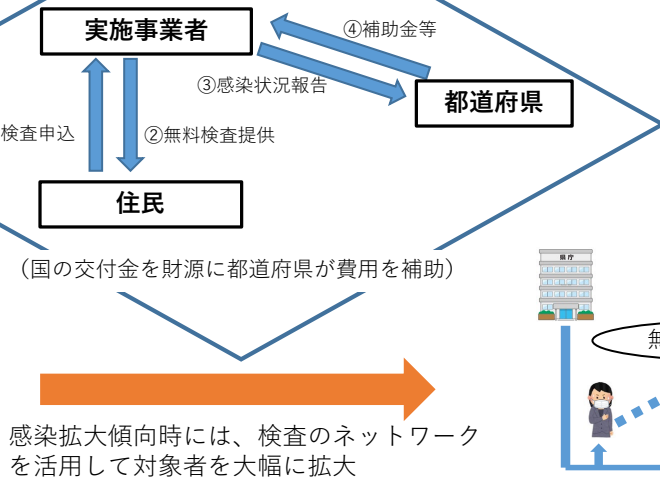
- 健康上の理由等でワクチン接種を受けられない者が、「ワクチン・検査パッケージ制度」及び民間にて自主的に行うワクチン・検査のため必要となる検査を無料化
- 検査は薬局・民間検査機関等において原則対面で実施



感染拡大傾向時の一般検査事業

(検査対象・方法)

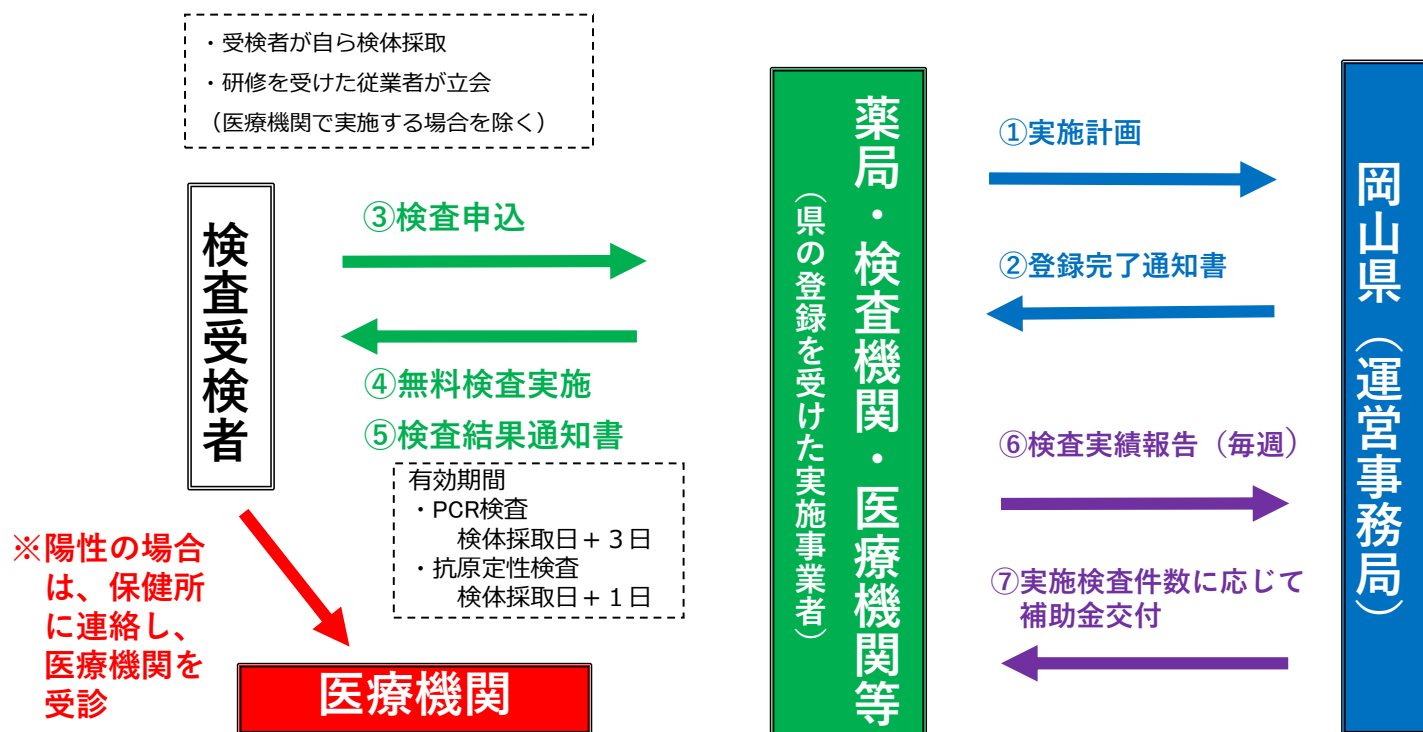
- 左記に加え、都道府県知事が、特措法24条9項等に基づき「不安を感じる無症状者は、検査を受ける」ことを要請した場合、これに応じて住民が受検する検査を無料化
- 検査は薬局・民間検査機関等において原則対面で実施



ワクチン・検査パッケージ等定着促進事業については令和3年度内に限り支援。

無料検査（PCR・抗原定性）実施スキーム

※実施期間「ワクチン・検査パッケージ等定着促進事業」：令和3(2021)年度
「感染拡大傾向時の一般検査事業」：令和3(2021)年度、令和4(2022)年度



※実施事業者は、ホームページで公開

検査対象者について

無料検査対象者

	有症状	無症状		
		ワクチン未接種者		ワクチン接種者
		健康理由等による未接種	自己の意思に基づく未接種	
感染拡大の傾向が見られ、知事が受検要請した場合	行政検査 (無料)	<ul style="list-style-type: none"> ・VTP制度利用 ・民間独自の取組 ・感染不安 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染不安 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染不安
感染拡大の傾向が見られる場合		<ul style="list-style-type: none"> ・VTP制度利用 ・民間独自の取組 	有料	
平時(感染拡大の傾向が見られない場合)		<ul style="list-style-type: none"> ・民間独自の取組 ・観光庁施策 		

※ VTP・・・ワクチン・検査パッケージ

岡山県新型コロナウイルス感染症無料検査事業 実施事業者募集について

1 目的

健康上の理由等によるワクチン未接種者がワクチン・検査パッケージを利用する場合や、感染拡大傾向時に感染不安を感じる無症状者に検査を受けるよう要請する場合にPCR検査や抗原定性検査等を無料化するに当たり、無料検査を実施する事業者を募集する。

2 内容

(1) 募集対象事業者

県内の医療機関、薬局、衛生検査所等又はワクチン・検査パッケージ制度登録事業者※

※「ワクチン・検査パッケージ制度登録事業者」

ワクチン・検査パッケージ制度を活用することにより、感染リスクを低減させ、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置等において適用される行動制限の緩和の適用を受ける旨を登録した飲食店、旅館、ホテル、イベント主催者等の事業者で、PCR検査等で用いる検体採取の立会い等を行う者

(2) 申請方法

岡山県新型コロナウイルス感染症無料検査事業運営事務局にEメール又は郵送により提出する。

募集要項、様式等はホームページに掲載する。

3 今後のスケジュール

- 12月23日～ 実施事業者募集開始
- 実施事業者について随時公表
- 無料検査開始

新型コロナワクチンの追加接種（3回目接種）について

本県では12月1日から、1・2回目の接種完了後、原則として8か月経過した方への追加接種を開始したところであるが、このたび国が、武田/モデルナ社ワクチンを追加接種の対象に加えるとともに、8か月の経過を待たずに追加接種を実施する場合の考え方を示した。については、本県では、市町村と連携しながら、次のとおり接種体制を確保することとする。

1 追加接種の必要性について

日本で接種が進められているワクチンは、高い発症予防効果があり、感染や重症化を予防する効果も確認されているが、感染予防効果等は時間の経過に伴い、徐々に低下していくことが、様々な研究結果等から示唆されている。このため、海外の状況やワクチンの効果の持続期間の知見を踏まえ、2回目の接種完了から原則8か月以上経過した方に、追加接種を実施することとされた。

また、追加接種に使用するワクチンは、初回接種に用いたワクチンの種類に関わらず、mRNAワクチン（ファイザー社ワクチン又はモデルナ社のワクチン）を用いることが適当であるとされた。

※武田/モデルナ社ワクチンにおける追加接種は、1・2回目接種で用いた量の半量となる。（別添、国リーフレット参照）

2 本県の接種体制について

追加接種の対象者には、市町村が8か月経過する月の前月末までに追加接種の接種券等を送付し、接種券等を受け取った時点で、県共通予約システムや市町村コールセンターを通じて予約し、接種できることとした。（実施済み）

3 8か月の経過を待たずに追加接種を実施する取扱いについて

国の事務連絡を踏まえ、次の追加接種の対象者には2回接種完了から8か月以上の経過を待たずに追加接種を可能とする。（令和4年1月から順次実施）

- 医療従事者
- 高齢者施設を含む社会福祉施設全般の入所者及び職員
- 通所系を含む全ての介護サービス、障害福祉サービスの利用者及び職員
- 病院及び有床の入院患者

※ただし、6か月を経過しない者は除く。

※原則として、モデルナ社ワクチンを使用する。

※高齢者施設等の巡回接種を行う場合、モデルナ社ワクチンもファイザー社ワクチンと同様、シリンジに充填した状態での移送が可能。

※12月24日に医療機関・介護事業者等向け説明会を開催する。

接種費用
無料
(全額公費)

追加(3回目)接種に使用するワクチン についてのお知らせ

武田/モデルナ社のワクチンも 3回目の接種に使用できるようになりました



◎ **接種の対象** 2回目のワクチン接種を終了した18歳以上の方

◎ **使用するワクチン**

1・2回目に接種したワクチンの種類に関わらず、ファイザー社または武田/モデルナ社のワクチンを使用します。ファイザー社は1・2回目の接種量と同量ですが、武田/モデルナ社は半量になります。

◎ **3回目の接種の安全性と効果**

安全性

ファイザー社及び武田/モデルナ社の薬事承認において、3回目の接種後7日以内の副反応は、1・2回目の接種後のものと比べると、どちらのワクチンにおいても、一部の症状の出現率に差があるものの、おおむね1・2回目と同様の症状が見られました。

発現割合	ファイザー社(2回目→3回目接種後の症状)	武田/モデルナ社(2回目→3回目接種後の症状)
50%以上	疼痛(78.3→83.0%)、疲労(59.4→63.7%)	疼痛(88.3→83.8%)、疲労(65.4→58.7%) 頭痛(58.8→55.1%)
10 - 50%	頭痛(54.0→48.4%)、筋肉痛(39.3→39.1%) 悪寒(37.8→29.1%)、関節痛(23.8→25.3%)	筋肉痛(58.1→49.1%)、関節痛(42.9→41.3%) 悪寒(44.3→35.3%)、リンパ節症(14.2→20.4%)
1 - 10%	38度以上の発熱(16.4→8.7%) 腫脹(6.8→8.0%)、発赤(5.6→5.9%) リンパ節症(※)(0.4→5.2%)	38度以上の発熱(15.5→6.6%) 腫脹・硬結(12.3→5.4%) 紅斑・発赤(8.7→4.8%)

(注) 対象/人数: ファイザー2回目 16~55歳/2,682人、ファイザー3回目 18~55歳/289人、モデルナ2回目 18歳以上/14,691人、モデルナ3回目 18歳以上/167人

(注) 2回目接種と比べた3回目接種での発現割合: 5ポイント以上少ないもの、5ポイント以上多いもの。

(注) 武田/モデルナ社のワクチンは、1・2回目は100µg、3回目は50µg接種している。

(※) ファイザー社のワクチンのリンパ節症は、接種後1か月以内のデータを記載。

出典: 特例承認に係る報告書より

効果

3回目の接種をした人の方がしていない人よりも、新型コロナウイルスに感染する人や重症化する人が少ないと報告されています。

◎ **1・2回目と異なるワクチンを用いて3回目接種した場合の安全性と効果**

英国では、2回目接種から12週以上経過した後に、様々なワクチンを用いて3回目接種を行った場合の研究が行われ、その結果が報告されています。

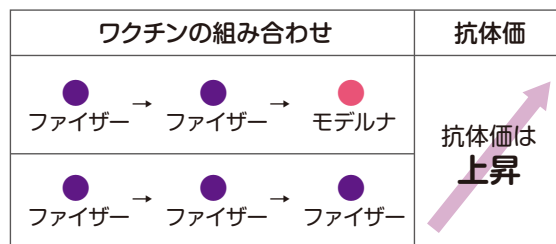
安全性

3回目の接種後7日以内の副反応は、1・2回目と同じワクチンを接種しても、異なるワクチンを接種しても安全性の面で許容されること

効果

1・2回目接種でファイザー社ワクチンを受けた人が、3回目でファイザー社ワクチンを受けた場合と、武田/モデルナ社ワクチン(※)を受けた場合のいずれにおいても、抗体価が十分上昇すること

(※) 武田/モデルナ社ワクチンは、3回目は50µg接種することになっているが、本研究では100µg接種した結果が報告されている。



出典: Munro APS, et al. The Lancet. December 2021

Q.武田/モデルナ社のワクチンは副反応が強いと聞いていますが大丈夫ですか。

A.武田/モデルナ社のワクチンにおける3回目接種は、1・2回目接種で用いた量の半量となります。2回目接種後と比較して、発熱や疲労などの接種後の症状が少ないことが報告されています。

(注) 接種後の症状のうちリンパ節症は、2回目よりも3回目の方が多く見られます。 出典：特例承認に係る報告書より

Q.ファイザー社と武田/モデルナ社のワクチンの効果に差はありますか。

A.1・2回目の接種では、ファイザー社と武田/モデルナ社のいずれも、2回目接種から約半年後も高い重症化予防効果(※)が維持されています。

ファイザー社と武田/モデルナ社のワクチンの1・2回目接種の効果を実験比較した観察研究では、武田/モデルナ社のワクチンの方が、感染予防、発症予防、重症化予防(※)の効果有意に高かったと報告されています。

(※) 重症化予防には入院予防を含む

出典：Rosenberg ES, et al. medRxiv, 2021. / Self WH, et al. MMWR Morb Mortal Wkly Rep. 2021. / Dickerman BA, et al. NEJM. December 1, 2021.

Q.3回目接種はどのようにしたら受けられますか。

A.お住まいの市町村から3回目用の接種券等が送付されましたら、ワクチンを受けたい医療機関や会場をお探しのうえ、予約をお願いします。



Q.1回目・2回目の接種をまだ受けていませんが、まだ受けられますか。

A.受けられます。公費で受けられる期間は、現在のところ令和4年9月30日までです。この期間であれば、1・2回目接種も無料ですので、ご希望の方はお早めに受けてください。

◎**ワクチンを受けるにはご本人の同意が必要です。**

ワクチンを受ける際には、感染症予防の効果と副反応のリスクの双方について、正しい知識を持っていただいた上で、ご本人の意思に基づいて接種をご判断いただきますようお願いいたします。受ける方の同意なく、接種が行われることはありません。

職場や周りの方などに接種を強制したり、接種を受けていない人に対して差別的な対応をすることはあってはなりません。

◎**予防接種健康被害救済制度があります。**

予防接種では健康被害(病気になったり障害が残ったりすること)が起こることがあります。極めてまれではあるものの、なくすことはできないことから、救済制度が設けられています。

申請に必要な手続きなどについては、住民票がある市町村にご相談ください。

感染予防対策
を継続して
いただくよう
お願いします。



密集場所



密接場面



密閉空間

「3つの密(密集・密接・密閉)」の回避



マスクの着用



石けんによる
手洗い



手指消毒用アルコール
による消毒の励行

新型コロナワクチンの有効性・安全性などの詳しい情報については、厚生労働省ホームページの「新型コロナワクチンについて」のページをご覧ください。

厚生 コロナ ワクチン 検索



ホームページをご覧になれない場合は、お住まいの市町村等にご相談ください。

2. 本日の論点：モデルナ社ワクチンを追加接種で使用するについて、どう考えるか

追加接種における交互相種について（免疫原性）

第25回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会
(令和3年10月28日) 提出資料

12週以上前にワクチンの初回シリーズを完了した成人を対象とした、交互相種を伴う追加接種の免疫原性は良好であったと報告されている。

Atmar RL et al¹ (プレプリント論文)

研究内容：米国の10施設において、ファイザー社ワクチン、モデルナ社ワクチン、ヤンセン社ワクチンを12週以上前に接種した18歳以上を対象に、交互相種を伴う追加接種の安全性・免疫原性を分析した非盲検フェーズ I - II 臨床試験の速報。^{※1}

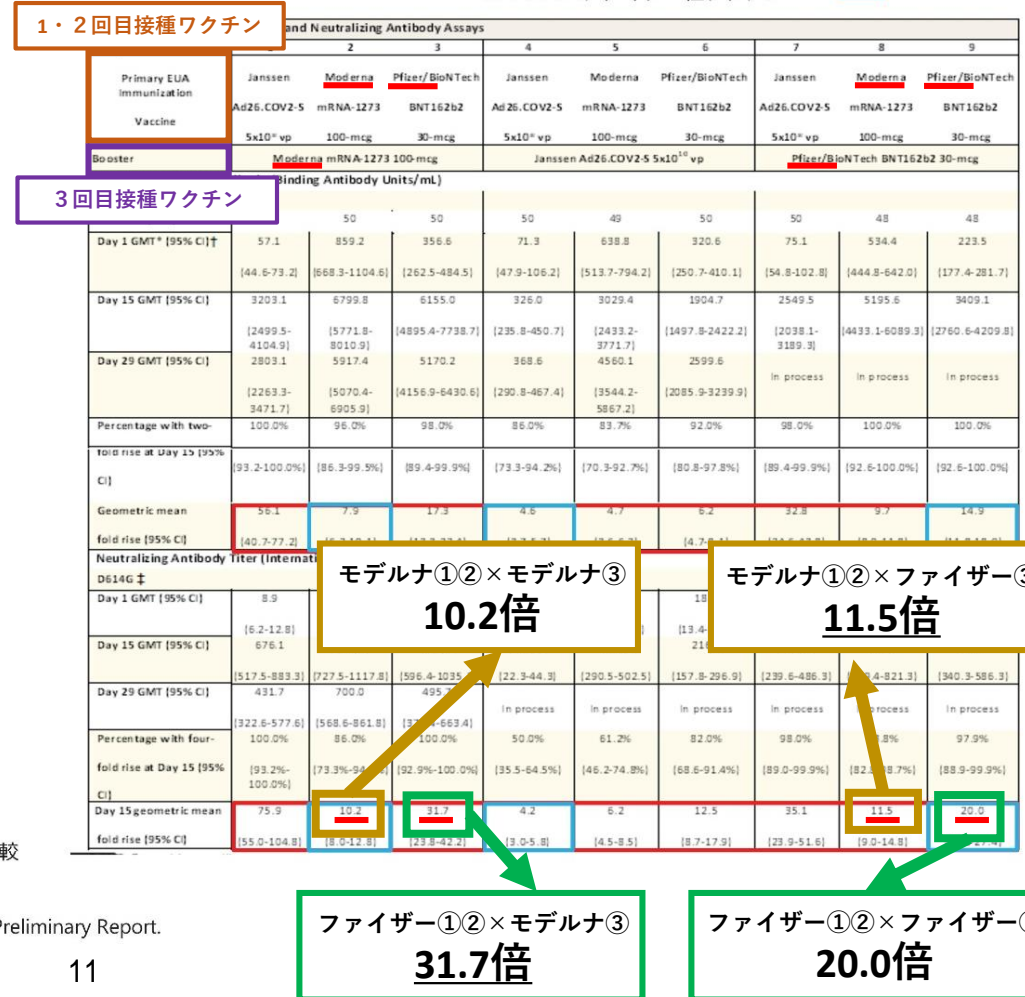
結果：初回シリーズと追加接種で使用するワクチンの組合せによって、458名が9グループに分類された。交互相種を伴う追加接種6グループと、同種ワクチンによる追加接種（同種接種）3グループすべての組み合わせで、追加接種前と比較して追加接種後15日目のIgG・中和抗体価が上昇した。

- IgG抗体価
 - 同種接種で4.6-14.9倍
 - 交互相種で4.7-56.1倍
- 中和抗体価
 - 同種接種で4.2-20倍
 - 交互相種で6.2-75.9倍

追加接種前と比較した追加接種後15日目のIgG・中和抗体価比

Ad26.COV2-S:ヤンセン社ワクチン
mRNA-1273:モデルナ社ワクチン^{※2}
BNT162b2:ファイザー社ワクチン

■ 交互相種
■ 同種接種



※1 著者は「初回シリーズと追加接種で使用するワクチンの組合せ間での抗体反応を直接比較した研究デザインではない」と明記。

※2 モデルナ社ワクチンの追加接種は100μgで施行。

1. Atmar RL, Lyke KE, Deming ME, et al. Heterologous SARS-CoV-2 Booster Vaccinations: Preliminary Report.

新型コロナウイルス感染症 年末年始の感染拡大防止に向けた知事メッセージ

体調が悪いときは帰省等を控えて

- ・発熱や倦怠感、咳など体調が悪い場合は、帰省や旅行、初詣、会食などへの参加を控え、速やかにかかりつけ医等を受診してください。

会食の際は飛沫感染リスクに十分注意

- ・年末年始は、忘年会、新年会など飲食の機会が増えます。会食の際は、深酒や大騒ぎは避け、食事中でも会話をするときはマスクを着用してください。
- ・岡山県飲食店感染防止第三者認証事業の認証店など、感染対策が徹底されている飲食店等を利用してください。

基本的な感染対策の徹底を

- ・ワクチン接種後も、マスクを顔にすき間なくフィットさせ、正しく着用してください。できるだけ感染予防効果等の高い不織布マスクを使用しましょう。
- ・寒くても、手洗いや十分な換気を徹底してください。
- ・3密（密閉・密集・密接）は一つの密でも避けてゼロ密になるよう、初詣や初売りなど、大人数が集まる場所に行くときは、混雑する日や時間を避けてください。

ワクチンを接種しましょう

- ・2回のワクチン接種が済んでいない方は、感染・重症化を防ぐために、早めに接種しましょう。

令和3(2021)年12月23日

岡山県知事 伊原木 隆太